

## 眼科手術搬出方法の改善

東 千香子 西 森 優 子 村 山 千 翔 竹 中 由 加

### 【はじめに】

当病棟では、眼科手術搬出の際にナースステーション前の廊下に車椅子を並べ、患者を待機させ順に搬出する方法をとっていた。これは、手術件数の多い眼科手術の搬出をより効率的に行うためであった。しかし、効率化を図る一方で手術搬出時にかかる患者の心理的負担に疑問を感じた。そこで、廊下からの手術搬出と患者の各部屋からの手術搬出を試行し、手術搬出までにかかる時間の差と患者の快適度調査を行ったので報告する。

### 【方 法】

1. 白内障手術患者30名を選択し廊下からの手術搬出後と部屋からの手術搬出後にアンケート調査を施行した。
2. 廊下からの手術搬出と部屋からの手術搬出にかかる時間をそれぞれ測定した。（図1）

### 【調査期間】

2015年10月～12月

### 【結 果】

廊下からの手術搬出方法に対して快適だと感じた人は22%、快適ではないと感じた人は55%であった。他の人の様子がわかるから安心したという意見がある一方で廊下は公の場であることから落ち着かなかったという意見があった。部屋からの手術搬出に対して快適だと感じた人は93%、快適ではないと感じた人は0%であった。また、廊下からの手術搬出と部屋からの手術搬出にかかる時間の差は14秒であった。（図2）

### 【考 察】

廊下からの手術搬出と部屋からの手術搬出にかかる時間の差はわずかであるが、患者の快適度には大きく差が開いた。また、術前の時間をどのような環境で過ごすかによって、患者の心理状況に大きな影響を与える事が分かった。

### 【結 論】

部屋からの手術搬出を行うことで、効率性を損なうことなく快適度を上げることができた。今後も定期的に搬出方法について評価し、患者さんがより快適に手術に向える環境を作りたい。

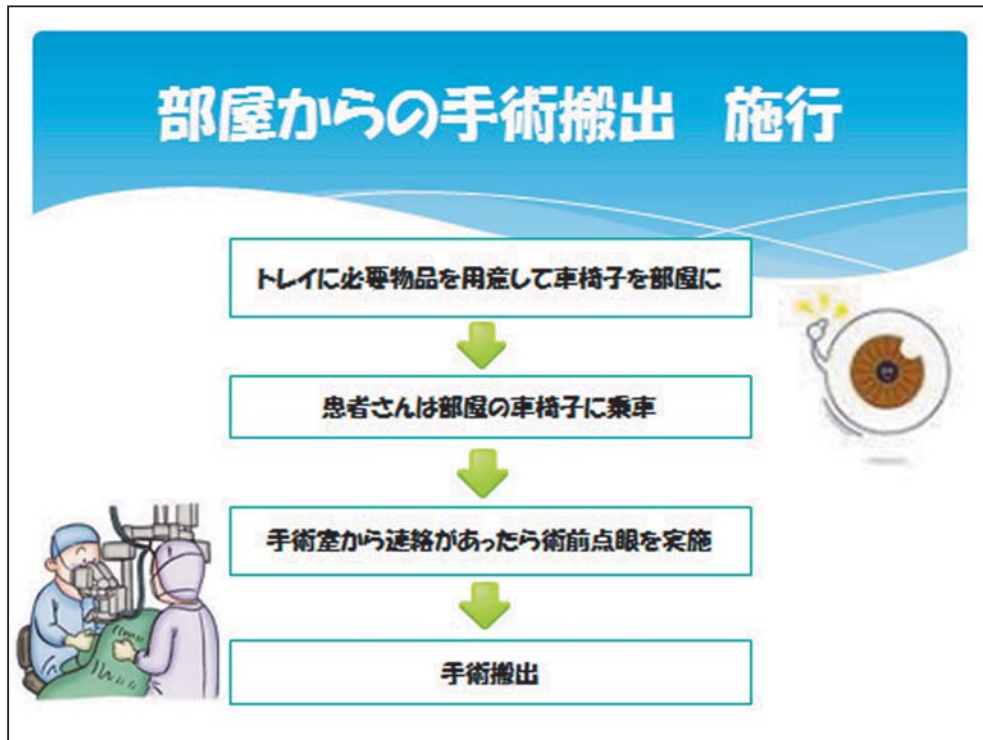


図 1

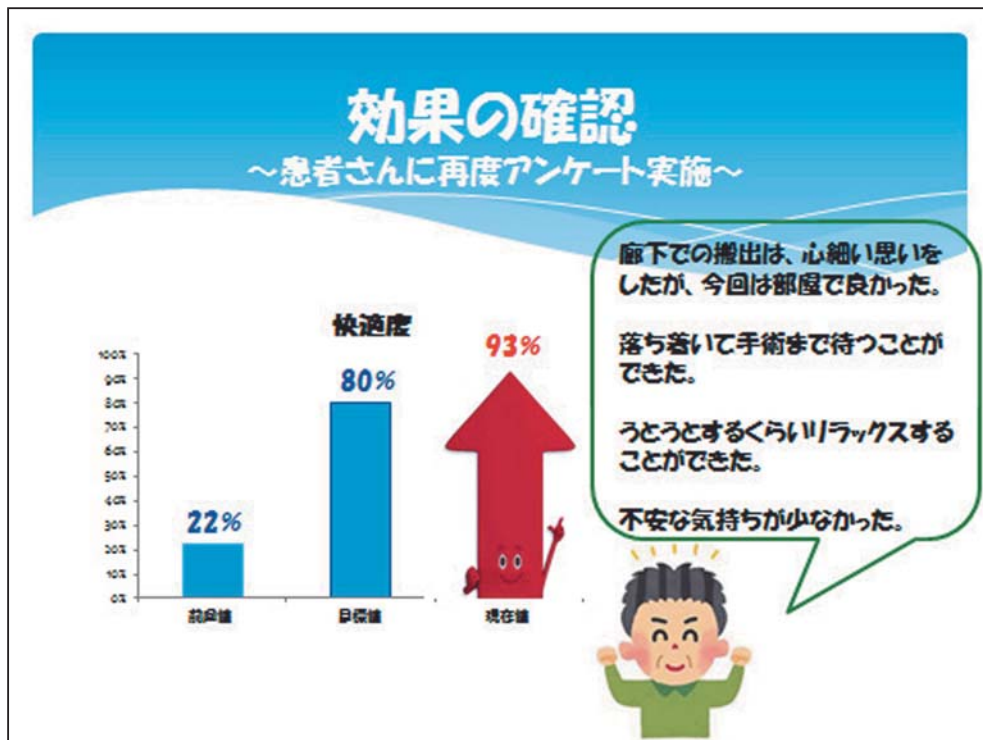


図 2